白糸財産区だより
第 30 号
平成 31 年 1 月 1 日
発行　白糸財産区
印刷　㈱きうちいんさつ

# 年頭によせて

富士宮市白糸財産区管理者
富士宮市長　須藤秀忠

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられたことをお慶び申し上げます。

日頃から白糸財産区の管理運営はもとより、市政運営に対しましても多大なる御理解と御協力を賜り心から感謝申し上げます。

また、昨年八月の財産区議会議員選挙において、晴れて当選されました十二人の皆様、誠におめでとうございます。

議員の皆様方におかれましては、白糸地区の代表として先人が守り育ててきた歴史と伝統を踏まえ、白糸地区の発展に御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成二十九年十二月に静岡県富士山世界遺産センターが開館したことで、富士宮市への来訪者が増大し、まちも大いに賑わいを見せており、非常に嬉しい限りでございます。

白糸財産区から生産された木材が世界遺産センターの木格子として使用されていることは、大変誇らしく、嬉しいことであり、これもひとえに白糸財産区議会議員をはじめ白糸地区の皆様方の御尽力の賜物であると深く感謝いたします。

我が国の経済に目を向けますと、政府による経済政策の取組の下、長期にわたる景気の緩やかな回復基調が続いております。海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がありますが、雇用環境の改善が続く中で、引き続き、緩やかに回復していくことが期待されます。

このような状況の中、本市においては、第5次富士宮市総合計画の将来都市像の実現に向けて、国が推進する地方創生の更なる深化の声とともに新たな価値を創造し、先見的かつ積極的な取組を行ってまいります。

また、白糸地区に関係する事業である白糸会館の建替えは、建替方針について白糸地区の方々と合意形成を図り、白糸会館建替基本構想を策定いたしました。これに基づき、二〇二一年四月の供用開始を目指して建設工事を確実に進めてまいります。

林業振興としましては、富士ヒノキの販路拡大を図るとともに、富士ヒノキの家・宮クーポン事業においても、SGEC森林認証材の使用や子育て世帯と大家族構想に基づく三世代同居世帯への上乗せ助成を行い、更なる地域材の利用を促進しております。

更に、白糸自然公園進入路は、片側三メートルの二車線と二・五mの歩道の道路として一月中に完成します。これにより大型バス等の通行が可能となり、これまで以上に多くの方々に御利用いただけます。

結びに、今後におきましても、魅力あふれるまちづくりを進めるために全力で取り組んでまいりますので、皆様方の変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに白糸地区の益々の御発展と皆様の御健勝を祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

# 持続可能な森林を目指して

白糸財産区議会議長　佐藤俊治

新年明けましておめでとうございます。

十二支最後の「亥」年を迎え、猛進までは行かなくても、今年は少しでも邁進できる年にしたいと思っております。

昨年の選挙で、第十八期の議員に推され、二期目議員として頑張っていく所存です。今後とも区民の皆様には、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、朝日に照らされた天子山系を見ますと緑の杉・ヒノキが広がっておりますが、伐採の全盛期のように皆伐が出来ないのが現状です。何とか早い時期に皆伐を実施して、山林の再造林の技術・作業を区民の皆様に体験していただきたいと思っております。幸い、昨年の静岡県森林組合連合会の総会において会長から、「皆伐再造林後の造林費用の一部助成を行う。」旨の説明がありました。このように様々な補助金を充てながら、皆伐を実施して「伐採、造林、棚作り、植林、下草刈り、枝打ち」を繰り返し行って、持続可能な森林経営を目指して行きたいと思っております。

# 議員二期目になって思うこと

副議長　竹川精一

新年明けましておめでとうございます。

覚えることばかりが多かった新人議員の一期から二期目と、富士を仰ぐ広範囲な区有林のパトロールや、財産区運営の収支、林業管理の流れを議員の立場で経験致しました。

財産区設置から六十年を過ぎ、先人が撫育・整備された樹木も逐次伐採が行なわれて来ましたが、立木売払収入は年々厳しい状況が続き、一昨年は一千七百万、昨年は二千百三十万、今年の計画は一千三百二十万、白糸財産区の今期年間収支予算は三千六百八十万で進んでいます。

よく「日本の林業は衰退している」という話を聞きますが、本当に衰退しているのではなく、国産材が選ばれにくくなっているのが実態のようです。諸外国では製材工場が住宅メーカーになっている場合も多く、山と製材と建築という流れがワンセットで動くのに対し、日本では「山は山」「製材は製材」「建築は建築」と、分断化が進んでいます。木材は生物由来の製品なので、木造の知識や経験が乏しい設計者から求められる「工業製品のような均質材といった過剰な要求」に応えるには木材を粉々にして接着したり集成材にする等の加工が必要になります。

昔は大工が山を見て木を見て、頭の中の図面で、これは床材、これは梁にする等、木を生かした建物でした。現在は住宅メーカーの台頭で効率重視、木材の同一化・同質化の流れとなり、プレカットが主流です。何とか、山・製材・建築が一堂に会し、それぞれが理解し合って「いい仕事」につながる場がこれからの国内木造業界に求められると思います。色々な所で「林業はコスト高」と聞きます。手間のかかる撫育や管理に加え時代の流れから情報通信技術を含む新技術、機械の進展、労働環境の改善なども嵩んできます。都市部の人からは、山は「花粉の元凶」といった声もあり、温暖化の抑止や環境への貢献といった教科書的な考えをも息をひそめがちな中、政府の勧める地産地消の一環として国産木材の活用も拡大し、国産丸太の需要量や木材の自給率も上昇しているそうです。林道整備の伸展などで木材の輸送効率が上がった結果、外材に比べ価格が低下し競争力が強くなったといわれています。加えて、二〇二〇年の東京五輪を機に増加が見込まれるSGEC（緑の循環認証会議）等の認証材の需要に応える対応も実行しています。

こうした中、議員として役に立つことを考え・学ぶことも多く、議員活動の一環で間伐体験も幾度か行いました。会社のコピー用紙も意識してFSC認証用紙を指定し、朝礼の話題でも木材活用や「森の力」について話す機会が増えています。

最近はCLT（直交集成板）の活用も進み、又、高機能繊維材料と木材を組み合わせた集成材や、樹脂を木材に含浸させて強度を高める方法もトウモロコシやサトウキビに加え、おがくずも可能となり、杉では無処理のものより三倍の強さも出来るようになったそうです。

効率的な間伐や伐採による良質な木材の生産、治山治水や環境に配慮した樹木の育成、森林浴等の森林活用にも興味を持って取り組んでいます。

白糸会館（出張所）建て替えの話題もこれから進んでいくことでしょう。今年も次代につなげる財産区議員となるよう務めたいと思います。

## 白糸財産区に携わって

白糸出張所長　佐々木　博

謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り誠にありがとうございました。

平成三十年四月一日付け職員配置替えで白糸出張所長を拝命して以来九ヶ月、無我夢中の思いで勤めてまいりました。

思い返しますと四月当初は、白糸出身でない自分が出張所長をおおせつかり、その責任の重大さを痛感するとともに、これまで携わってこなかった財産区運営、特に区有林管理に関してどう対処したものか、戸惑いを覚えておりました。

しかしながら、周りの職員はもとより、財産区議会議員の方々や区長を始めとした地域住民の皆様、お付き合いのある各種団体の方々と、大勢の方々のご恩情とご配慮によりどうにかやってこられた次第です。

さて、白糸財産区ですが、昭和三十三年四月一日の富士宮市との合併に伴い、同年七月一日に特別地方公共団体として設立され、昨年でちょうど六十年となりました。管理者は富士宮市長です。

財産区の運営は、財産区議会が設置され、議員十二名による年三回の定例議会を開催しております。

また、議会運営委員会を毎月開催し、協議及び報告を行い、財産区運営の円滑化を図っており、継続した適切な区有林管理のため、国・県の補助金を活用しながら、間伐及び作業道の整備拡充を実施しています。

一方、出張所は、住民票や戸籍等の各種証明書の発行業務や、転入・転出等の住民異動及び戸籍等の各種届出の受付窓口を備え、市役所本庁の出先機関としての位置付けもあり、地域住民の皆様に密接した施設です。

現在、二〇二一年四月の供用開始を目指して、白糸会館（出張所）建替事業を進めております。これまで地元説明会と称して、幾度か意見交換の場を設けてまいりましたが、今後も折に触れてご相談させていただきますので、お力添えを賜りたくよろしくお願い申し上げます。

終わりに、以上のような財産区及び出張所運営に対しまして、微力ではございますが、皆様の納得のいく成果をあげるべく、一念発起の気持ちで業務に邁進していく所存です。

至らぬ点も多々あろうかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 視察研修と抱負

総務委員長　藤巻　政治

新年明けましておめでとうございます。区民の皆様には、日頃より白糸財産区への、ご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、昨年の十一月に第十八期財産区議員で、日本三大美林とも称されます、天竜スギの本場でもあります浜松市に視察に行って参りました。最初の視察地、静岡県森林組合連合会天竜事業所では、「定例の木材市が終わったばかりなので木材は少ないですが、これぞ天竜材を見ていただければ」との所長さんの説明後、貯木場を見学させていただくと、広大な敷地に天竜スギを中心に、たくさんの木材が積まれておりました。天竜材は、江戸時代より手を入れてきた材が多く出荷されており、白糸地区では目にすることのできない、樹齢二〇〇～二五〇年生のヒノキには驚かされました。

続いて訪れました天竜国産材事業協同組合では、丸太の皮むき、製材、乾燥の工程を一貫した管理により、年間四二、〇〇〇㎥の製品を生産している組合でした。説明で、丸太の製材は、同時に二面を製材できる「ツインバンドソー」の使用には驚き、又他社では四面を同時に製材できるものもあるとのことに、またまた驚きました。

十二月には、白糸小五年生を対象にした、「シイタケほだ木の伐採」に参加し、子供たちの楽しそうな活動風景を見ながら、少しでも白糸の山に興味を持ってくれれば良いなと思いました。

近年、木材の価格が暴落し、財産区の管理運営は大変厳しい状況が続いておりますが、森林は二酸化炭素を吸収し地球温暖化を抑制や、地下水を蓄え水道水を生み出すなどの森林経営以外の働きもあり、私たちの生活に欠かせない存在となっております。

先人たちが育ててくれた大切な森林を守り育て、次の世代につなげていくことが大事な任務だと思っております。

第十八期財産区議員として頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

## 木質燃料について

総務委員　佐野　上

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

私の家は、父が昭和五十年頃まで、葉タバコの耕作農家でした。夏葉タバコを収穫した後、葉タバコを乾燥室で乾燥する燃料は、マキを利用しておりました。マキは毎年一月から二月の間に、区有林の黒瀧付近で広葉樹を伐採し調達しておりました。

元号が昭和から平成になり、今年の五月からは新たな元号になるなかで、ふと父たち一農家が区有林内の広葉樹の伐採ができたのか、不思議に思い調べてみました。

昭和十一年十二月、富士郡白糸村発行の「村有林施業要領」及び「施業図」によりますと、当時の村有林面積は千八十町歩あり、内訳としては、人口造林三百八十一町歩、薪自由伐採及び雑木林三百七十九町歩、採草地及び萱場百八十六町歩、貸地等百三十四町歩となっておりました。この中の、薪自由伐採及び雑木林三百七十九町歩は村民が自家用燃料として利用することを、昭和四十年頃まで許されていたようです。また当時の施業図では、自由伐採林として地図に記載されており、その位置は、黒瀧・夕日・鏡笹・半野細茅・坂の澤・大助となっておりました。

現在では、電気・ガス等の発達により、木質の燃料は使用されておりませんが、最近白糸地区でもマキストーブを使用している家庭が見受けられますので、今後は財産区有林で発生する市販性のない間伐材の有効利用への取り組みも考えてまいります。

## 新期議員を迎えて

総務委員　松橋　俊治

新年明けましておめでとうございます。昨年は財産区議員の改選の年で、何かと忙しい年でありましたが、新議員六名を迎え、早々、定例議会、山の神祭事、財産区有林パトロール等、例年の行事も順調に始まっております。

今後の課題は、財産区の運営、出張所の建替え事業と多岐にわたっております。今まで培ったSGEC（森林認証制度）についても、より多くの方々に認知してもらい、市や県への制度の定着及び、拡大を図ってもらいたいと願うものです。

それに加え、林業政策の支援を行うために創設される森林環境税によって、林業の発展が推し進められることを見守っていきたいです。

これによって新しい技術の利用、例えばドローンによる森林成育状況調査により、収集したデータをAI（人口知能）に蓄積させ、出荷可能場所を選定したり、また風倒木等災害時には、映像確認での素早い対応が可能になるというような事が、近い将来やって来るのではと考えます。ただし、まずは財政面の向上が、第一ではありますが。

## 財産区議員になって

土木委員長　平石　邦夫

新年あけましておめでとうございます。

昨年八月に、財産区議員として仲間入りさせていただきました平石です。私は、林業とは全く無縁の自動車部品製造会社で、主に品質管理の仕事をしていました。製品の品質については、何かあれば、なぜ・なぜ?を一つずつ究明し解決してきました。今までの経験は、財産区の管理等でも、今後生かせると思っています。

さて、財産区の主たる収入は、国からの間伐補助金と間伐による木材売上になっております。現在、間伐事業ができるのは、機械のない時代から先人たちが長年にわたり、苗の植え付け・下刈り・枝打ち・皆伐、そしてまた苗を植え付け、白糸財産区の良質材を育ててきてくれたおかげだと痛感しています。これからも、財産区の山を管理することが、白糸財産区を今日まで育ててくれた先人への恩返しであると思います。

白糸小　シイタケほだ木の伐採

区民の皆様にも、今後も下草刈り等へのお協力をお願いします。また、白糸が誇る財産区有林を次世代まで末永く伝えるため、山の管理に必要不可欠である林道の維持管理を、市役所と財産区が協働でやっていきたいと思っています。

諸先輩の皆様の、ご指導とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

## 土木委員　藤田　幸男

新年あけましておめでとうございます。

私が白糸に移住して二十三年、財産区とは全く無縁だと思っていた私が、原区一町内の議員になって四ヵ月が過ぎました。

私は仕事柄、住宅の木部の塗装を長年やってまいりましたが、財産区の山での仕事や立木の管理等は全く素人なので、今でも不安だらけです。

昨年は大型の台風や集中豪雨等で、周囲の森林は想像以上に被害が多かった様に思います。実際に財産区内の道路も土が流されて、パトロールも大変でした。

幸い立木は日頃の手入れのおかげもあって、ほとんど被害はなかった様に思いました。先輩たちが長年かけて大切に守ってきた財産区資源でありますので、私達も皆様と協力して守り、後世に残したいと思っております。

本年もよろしくお願い致します。

## 財産区議員をおおせつかり

土木委員　堤　昌之

明けましておめでとうございます。

半野区四町内の財産区議員として推挙していただき、財産区議会に携わらせていただきました。

定例議会、運営協議会の回を重ねて全てが勉強になりました。まだまだ、分からない事がたくさんありますが、一つずつ今後に生かせるよう努力していきます。十一月の研修で静岡県森林組合連合会天竜事業所、天竜国産材事業協同組合を視察しました。ここ十年の材の流れ、価格、搬入材、見るもの、聞く話はじめてのことばかりでした。視察で得た知識を今後に生かすことを新たに決心しました。

まだまだ、勉強の日々ですが、先人が長年にわたり管理・育成してきた財産区の山を守り運営していく議員の一人として任期を全うしていきます。区民の皆様方のご指導、ご協力をお願い致します。

## 自然災害の恐ろしさ

営林委員長　佐野　旦年

新年明けましておめでとうございます。

半野二町内の推薦を受け二期目を勤めさせていただく事になりました。

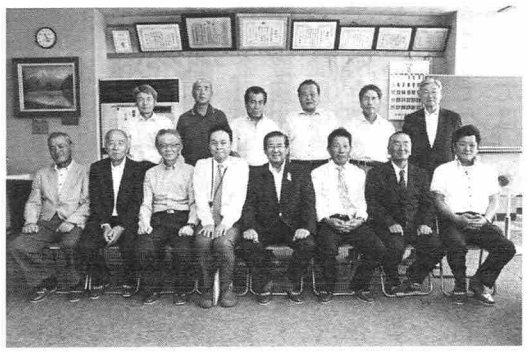
昨年は日本全国で大雨による濁流で家々が埋まり、又流されるなどの大変な被害の映像をテレビで目にしました。静岡県では、昨年最後に来た台風二十四号の風の強さで富士山麓は風倒木の災害がひどく、調査の結果では、富士宮市芝川の山林がかなりの倒木数で、処理に大変な時間を費やしました。いまだ手つかずの山も多く目立っております。県の補助金が決まり次第、風倒木処理が行われてゆくと思われます。

この三ケ月の間で、東部地区だけで、風倒木かかり木（木が予期せぬ方向に倒十年もかかり育った立木が無残にも倒れた姿など、山・木材を見る目が変わった事を感じるようになりました。

今は、知識と経験豊富な財産区議員の先輩がおり、色々教えてくれます。しかし、今後の事を考えると、年々と過疎化するこの白糸地区で、どれだけの方がこの地に残り、この財産区を継承していくのか不安にもなります。

そんな中、少しでも若手議員としてこれからの世代への架け橋役になれたらと思いながら、今は先輩議員の方々から多くを学び、また、今までの財産区の歴史を噛み締め、次は自分が伝える役になれたらと考えております。

議員としての任期が四年ありますので、この白糸財産区を通して多くのことを学んでいきます。



## 新議員四ヶ月が経過して

営林委員　伊藤　文義

新年明けましておめでとうございます。

区民の皆様におかれましては、新年のスタートと共に希望・夢・目標等を立て新たな気持ちで迎えられていることとお慶び申し上げます。

本年八月より、新一年生として財産区議員となり、すでに四ヶ月が経過致しました。

色々な理由から、まだまだ未熟な五十一歳の若手の私が財産区議員という職務に就くようになりましたが、当初から、材木関係には何ら興味も無く、また、知識もありません。

しかし、今回、議員としての活動をさせて頂く中で、先祖、諸先輩方が残してくださったこの財産区の木材の尊さ、また、森林パトロールを行なう際に見かけた、昨年の台風二十四号の強風により数月の財産区発足以来、白糸地区の基盤整備費として、七億八百万円が市に繰出されておりました。しかし、近年の木材価格は、昭和五十年代のピーク時の約十分の一程度まで下落し、一方で人件費は上昇の一途から、健全な収支が見込めないなか、このたびの繰出し要請につきましは、議会といたしましても慎重な審議が必要と感じております。

私達財産区議員は、区民の皆様と共に、緑豊かな白糸の大地を次世代に引き継ぐために、計画的な森林整備に努めてまいりますので、何卒ご指導ご協力をお願いいたします。

## 営林委員　高野　壽介

新年明けましておめでとうございます。

皆様方の今年一年が、ご多幸でありますよう、心よりご祈念申し上げます。

私は去年の八月、白糸財産区議員選挙に当選させていただきました。当選直後の八月の運営協議会におきまして、議員勉強会が行われ、白糸財産区の歴史・財産区とは・財産区の法的位置付け・財産区に関わる関係法令・市町村合併に伴う財産区設定に関する協定書・財産区の財産（土地及び基金）・財産区有林の位置図・議員の主な活動と議員組織等の説明を聞きつつ、議員への期待と責任の重さを強く感じました。

平成三一年から着工が計画されております、老朽化した白糸会館（白糸出張所）の建替え事業、また光ファイバーの整備事業に対しまして、市より財産区からの繰出し金の支援要請がありました。繰出し金の過去を調べると、昭和三十三年四

## 財産区有林に思いを寄せて

営林委員　植松　正男

新年明けましておめでとうございます。

区民の皆様には、財産区の管理運営に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私は、昨年八月より新人議員として就任いたしましたが、天子山系に広がる財産区有林に触れるたびに、心が震えるような思いが湧きあがってまいります。

明治二十二年の白糸村開村以来、百数十年の時を経て、私たちの先人が守り育ててくれた貴重な森林資源であります、白糸財産区有林の管理運営の一翼をお手伝いさせていただく機会をいただき、厚くお礼を申し上げます。

木材価格が低迷し、大変厳しい経営状況の時ではありますが、木材の品質に誇りを持ち、また森林の公益的機能を維持しつつ、環境にも配慮した森林管理を今後も継続して行い、未来に誇れる財産区有林を育むための努力をしてまいりたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 財産区の予算・決算

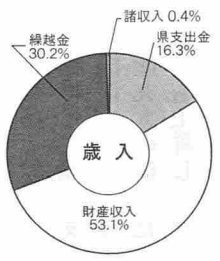
### 歳入

単価（千円）

| 区分 | 平成30年度当初予算額 | 平成29年度決算額 |
|---|---|---|
| 県支出金 | 4,200 | 8,013 |
| 財産収入 | 18,010 | 26,142 |
| 繰入金 | 1 | 0 |
| 繰越金 | 14,681 | 14,889 |
| 諸収入 | 2 | 216 |
| 合計 | 36,894 | 49,260 |

### 歳出

単価（千円）

| 区分 | 平成30年度当初予算額 | 平成29年度決算額 |
|---|---|---|
| 議会費 | 4,855 | 3,895 |
| 総務費 | 26,839 | 29,829 |
| 積立金 | 1,000 | 0 |
| 公債費 | 1 | 0 |
| 諸支出金 | 3,584 | 0 |
| 予備費 | 615 | 0 |
| 合計 | 36,894 | 33,724 |

### 平成29年度決算の構成比